

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 80%
保護者様： 15名回答、回答率 60%

職員の意見

○環境・体制整備

事業所の環境としては、利用者の特性に合わせて、利用目的に合わせパーテーション等を使い環境分けを行い、可能な限り利用しやすい教室に近づけている。

体制については法令上の人員は整ってはいるものの送迎等の都合上、事業所の状況に合わせて指導員が不足してしまう場合があるため、業務前MTG等で支援・安全面について検討し一日の流れを組み立てている。

○業務改善

スタッフ間で意見交換を普段から行っており、毎日業務前MTG等を行うことで、支援の質の向上を図り、各々で業務分担をしており、スタッフ間で協力し合えるような業務体制になっている。
定期的に社内研修も実施されており、広い視野を持って支援を行うように心がけている。

○適切な支援の提供

毎日の業務前MTGや、個別支援計画作成の際に、普段からの生徒の行動や個別課題、行動の前後関係などをスタッフ間で話し合い、生徒への支援内容をその都度適切なものに更新し続けている。

○関係機関や保護者との連携

相談事業所とも連携を図り、一部の利用者と情報共有を行っている。学校との情報共有は個人情報扱いになる為、内容により学校からではなく保護者と直接の情報共有を実施している。

○保護者への説明責任等

ニュースレターにて、前月の活動報告と次月の活動予定のお知らせをしている。また、契約時には重要事項を説明し、個人情報の使用同意やその他ご理解をいただいた上で契約を行なっている。

○非常時等の対応

月に1回活動の中に避難訓練を設けることによって、毎月それぞれ異なる場面に合わせた非常時の対応に関する訓練を執り行い、BCP等に変更がある際には職員間で周知している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

①活動等のスペースの確保で「はい」の回答86.7%、「どちらともいえない」6.7%
「わからない」6.7%

②職員の配置については「はい」の回答80%、「どちらともいえない」20%
保護者様のご意見「もう少し広いと良いかなと思うが、場所探しに苦労されていたのを
知っているのであくまでも願望です。」

○適切な支援の提供

⑤子どもの特性に応じた専門性のある支援が行なわれているかについて
「はい」の回答86.7%、「いいえ」の回答13.3%

⑨放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているかについては「はい」の回答100%

○保護者への説明等

⑫利用のする際に丁寧な情報の説明が行われていたかについては「はい」の回答93.3%
「わからない」6.7%

⑱保護者会の開催等がなされているかについては「はい」の回答20.0%、「いいえ」33.3%
「どちらともいえない」の回答20%、「わからない」の回答26.7%。

○非常時等の対応

⑲事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が
行われているかについては、「はい」の回答86.7%、「どちらともいえない」の回答6.7%
「わからない」の回答6.7%

保護者様のご意見「避難訓練を実施しているのは知っているが、それ意外はわからない」

○満足度

⑲子どもは安心感をもって通所していますか「はい」の回答100%

⑲事業所の支援に「満足している」の回答80%、「どちらともいえない」約20%

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

教室内の状況を見に来ていただく機会が作れていない為、保護者会や教室見学等、教室内の様子
を見ることができるような仕組みを構築し、実際に状況を見てもらって今後の支援に繋げていきたい。

○改善できた点・まだ残る課題

現状として未だ課外での活動等が少ない為、長期休みや土曜日など、時間が作りやすいタイミング
を見て課外活動などといった機会も設けていきたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・今回の保護者様からのアンケート結果から、教室内のにおいての利用者様への適切な支援や、個別支援計画に沿った支援を行っているという点においては良好な回答結果をもらえており、信頼していただけている状況である。
- ・各ご家庭に対しての利用規定などの説明を丁寧に行うことができているかという項目は良好な回答結果をいただくことが出来ている。

○改善点

- ・保護者会や放課後児童クラブ等との交流などといった、外部での交流が少ないため、面談等以外にもそれぞれの立場から情報共有をできる場面を提供すべき。
- ・事業所内の状況が見ることができないため分からないという事もあるため、事業所内の状況をより開示できるような試みを行う。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・中高生が中心の事業所のため、これまでの改善計画から引き続き特別支援学校に通っているご利用者様に対しては主に自立を目標とした生活スキルの向上等のための支援を行っていくことでご本人様や保護者様が望む進路に進んでいけるような支援体制を整備し、就労B型や就労移行支援などに進むことも視野に入れた支援体制の構築を行う。
- ・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等の、保護者同士の交流の機会といった、ご利用者様の交流が少ない点については、活動の時間に保護者様にご見学していただく機会を作り、半年に1度程度の頻度で、保護者会等の交流の場を設ける、等といった形式で交流の機会をご提供できるように検討していく。
- ・支援級に通う学生のご利用者様に対しての対人スキルや学力等を含めたSSTの実施。また、高校生も増えていくため今後の進路に必要なスキルについてをより強化していけるような支援体制の構築を行う。また、支援級の進路先の相談や関連機関との関係を構築して行く。

○1年間で取り組む具体策

- ・支援学校に通っているご利用者様に対しては、一人一人に合わせた支援を行うことが出来るように、それぞれ求められる能力を指導員間では毎日の業務前MTG等で検討し、学校や外部事業所、保護者様などと連携して環境の適正化を図り、集団活動や個別課題のステップアップや見直しを行っていく。
- ・支援級のご利用者様には個々人のレベルに合った就労や私生活、学習や面談等といった様々な場面に対応するスキルや場面に応じたSST等を行う。
- ・事業所での様子や取り組みを保護者の方々にもより認知いただけるように、保護者会や保護者交流の場だけではなくブログや日々の記録、送迎時のフィードバック等を活用し発信していく。

スマートキッズ